

Heroldo de HEL

N-ro 112

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

ĉe HOŠIDA Acuŝi

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

Postgirkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

*Sekretario: SATOO Eiji

TEL(poŝ):090-2054-8751

Retadreso : zamenhof@ka2.so-net.ne.jp

*TTT-ejo : <http://www5d.biglobe.ne.jp/~hel/jp/index-j.htm>

Marto 2007

北海道エスペラント連盟

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

Retadreso:hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

*事務局:佐藤英治

TEL-FAKS:0144-58-2174

[Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- Hokkajda Kongreso en julio P. 2
第71回北海道大会は7月末
- S-ro Fjodor JULIN el Vladivostoko, 18-jara studento
横浜UKへウラジオストクから18歳の大学生/HOŠIDA Acuŝi
- 札幌エスペラント会 春の新人講習会 P. 3
- Tutjapana kursaro de Esperanto heroldanta Jokohaman UK-on
2007年「世界エスペラント大会直前講習会」/HOŠIDA Acuŝi
- Esperanto malfermis al mi la pordon de aina kulturo P. 4
エスペラントが開いたアイヌ文化への扉/HOŠIDA Acuŝi
- EPA planas Majan Kunlogadon en Jamabe(Yamabe) P. 5
「新緑の大本北海本苑でエスペラント五月合宿開催」/SATOO Buzio
- Bildrakonto "Reviviĝu, la arbaro de Erimo!" P. 6
絵本「よみがえれ、えりもの森」エスペラント訳(前半)
- 格差社会とエスペラント/120 jarojn post Sherlock Homes/道新2.27 P.10
- Danke ricevitaĵ -受領郵便物- (星田淳 扱い) P.11
- Ekzameni Vortojn/単語をしらべる/HOŠIDA Acuŝi P.12
- [第3回委員会報告] Protokolo de la 3-a Komitata Kunsido P.15
- [第4回委員会報告] Protokolo de la 4-a Komitata Kunsido P.15
- [編集後記/Redaktanto parolas ...] P.16

* 横浜UK (世界大会) に寄付金を! *

* 42年ぶりの日本でのUKを成功させるために寄付を募っています。 *

* 委員会で、HEL としてまとめて寄付しようとの提案がありました。同意 *

* される方は上にあるHEL の振替口座に「世界大会寄付」と明記して払い *

* 込んでください。 Antaŭdankon! *

Hokkajda Kongreso en julio

第71回北海道大会は7月末

世界大会直前合宿をかねて7月28~29日と想定

日程、場所は次のように決まりました。

7月28日(土) 札幌市 かでる2・7 1029号室: 学習、懇親会など

7月29日(土) 札幌市 かでる2・7 810A号室: HEL 総会など

詳細は決定次第お知らせします。

S-ro Fjodor JULIN el Vladivostoko, 18-jara studento

横浜UKへウラジオストクから18歳の大学生

HOSIDA Acuŝi

Kiel vi eble scias, oni invitas esperantajn aktivulojn el aziaj landoj. Laŭ sugesto de JEI nun ni planas inviti junan studenton el Vladivostoko.

昨年夏から JEIの機関誌に出ている通り、今年の横浜の世界大会にアジアの活動家を招待する計画が進んでいます。年末に招待予定者23人が決定しました。JEI では1人あたり20万円見当として助成を考えていますが、予算は400万円ですので、全員が入国できれば予算不足の恐れも出てきそうです。

昨年 JEIの担当理事から星田に招待者推薦の依頼があり、HEL と協力関係にあるウラジオストクのグループに連絡、次の人が推薦されました。JEI で決定した23人のなかに入っています。

JULIN Fjodor Andreeviĉ naskiĝjaro 1988

studento de la 1-a kurso de la For Orienta Ŝtata Teknika Universitato

fakultato de Informadiko kaj Komputeraĵ sciencoj

Li komencis lerni Esperanton en mezlernejo

Anticipan dankon, sincere via Aleksandr TITAJEV

上の文がウラジオストク工業大学の S-ro Docento TITAJEV の推薦文でした。ジューリン、名はフョードル、1988年12月生まれの18歳、23人中の最年少。工業大学の情報工学・コンピュータ学部の学生です。本人からは次の自己紹介文が来ました。

Mi naskiĝis en 21/dec./1988. Mi partoprenas al Vladivostoka Esp.-Klubo "Pacifiko", kaj konas la anglan kaj Esp.-on.

La parencoj konas E-on, kaj mi de infaneco lernis la lingvon hejme.
Mi vizitis klubon "Pacifiko" kaj partoprenis la kunsidon.
Mi estas preta disvastigi Esperanton por nia regiono.

身近にエスペランチストがいて幼いときから聞き覚えたようですね。このあとコンピュータ学部での学習内容なども書いてきましたが省略します。

JEI に対しては世話人として私(星田)の名を出していますがIEL の名で招待するように委員会で承認されました。道大会にも出てもらうよう、これからウラジオと日程を打ち合わせるようになります。道内でどこを見てもらうかも考えましょう。

札幌エスペラント会 春の新人講習会

4月14日から開催予定。次の記事「春の一斉講習会」へ北海道からの第1弾!

Tutjapana kursaro de Esperanto heroldanta Jokohaman UK-on

2007年春の全国一斉「横浜世界エスペラント大会直前講習会」

HOSIDA Acusi

日本エスペラント運動百周年記念事業委員会は任務を終わり、この3月末に解散します。最後の事業として呼びかけているのが

2007年春の全国一斉「横浜世界エスペラント大会直前講習会」です。

あなたの地方会で(個人でも)エスペラント講習会を計画しませんか。公民館、文化センターなどの広報を利用できればいいが、そうでなくても自宅を使い、地方紙に出してもらう、口コミで宣伝、など方法は考えられます。

JEI のパンフレットに チラシ「講習会のお知らせ」をつけて公民館などに出しておく、という手もありますね。

「受講者が現れれば講習会を行う」という方針でも結構ですので全国一斉「横浜世界エスペラント大会直前講習会」に参加します、と「百周年記念事業委員会(略称 JJJ)事務局」

■郵送連絡先: JJJ 事務局 410-0012沼津市岡一色501 藤巻方

■電話+ファックス: 055-922-3783 (8時から20時まで)

メールアドレス: esperanto@thn.ne.jp

あてに名乗りを上げて(計画を通知して)ください。

●2007年春の全国一斉「横浜世界エスペラント大会直前講習会」

参加団体リストは:

<http://www2.tokai.or.jp/esperanto/acxikocxi2007p.html>

に出ています。たくさんの開催地が並べば、世界大会の前景気になりますね。

Esperanto malfermis al mi la pordon de aina kulturo

エスペラントが開いたアイヌ文化への扉

HOSHIDA Acusi

北海道にいて Ainaj Jukaroj などアイヌ関係の本を編集したりしたので、専門家と勘違いされたこともあるが、実は全くの素人、北海道に来るまでは学校で「アイヌがいる」と習ったな、という記憶が残っているだけでした。

ところが時々外国からのエスペランチストが北海道に来るとたいてい「アイヌを見たいーアイヌ部落へ行きたいー」と希望する。何度か案内するうち、私自身アイヌの歴史や文化について何も知らないのではつとまらなくなったので、いろいろ調べることになりました。

特に Tibor Sekelj を白老、平取（びらとり）、二風谷（にぶたに）に案内した（1960年4月）事で大きな影響を受けました。彼は前もって情報を集めて、「白老にはアイヌの詩人がいるから訪問する」「平取には民謡を歌う人がいる」と、私は初めて見たポータブルテープレコーダーも準備しての計画的な調査でした。二風谷では、のちアイヌ出身の初の国会議員になる萱野茂さんからアイヌ民具製作活動などの話を聞きました。彼は忘れられていくアイヌ語を、自分の経営する幼稚園で教え始めたが、今はラジオ講座や道内各地のアイヌ語教室が続いています。

昨年の北海道エスペラント大会は大会テーマを「プラハ宣言とアイヌ語復興運動」としました。あの宣言の「第5項 言語上の権利」と「第6項 言語の多様性」を読めば、危機にある言語の復興・保存運動が、プラハ宣言の示すものと同じ方向のものであることがわかるでしょう。

第1日の公開講演会で話した2人のアイヌ語関係の講師のうち1人、アイヌ語ペンクラブの萱野志朗事務局長は、故萱野茂元参議院議員の子息で、アイヌ語の復活普及のための「アイヌ語特区」や、アイヌ語を含む「公用語法」を考えている、と話しました。

IKEL (Internacia Komitato por Etnaj Liberecoj : 先住民・少数民族問題の専門団体) の2年前の機関誌を見たら驚きました。オーストラリア先住民の言語について「危機にある言語が生き延びるためには、それが使われる地域と、言語の承認された政治的地位が必要である」とあります。萱野講師の考えと実質的に同じことでしょうか。場所は違っても同様な状況にあれば結論は同じなのでしょうか。

先住民問題、平和問題など、世界の多くの問題を私は主にはエスペラントを通じて眺めていたようです。今後もエスペラントによる世界への道をもっと広げていきたい。今年の横浜UKがそのための大きなステップになることを期待します。

EPA planas Majan Kunlogadon en Jamabe(Yamabe)

「新緑の大本北海本苑でエスペラント五月合宿開催」

Jen anoncas S-ro SATOO Huzio kiel jene (佐藤不二雄さんから)

EPA 北海支部では来る5月12日(土)～13日(日)に新緑真盛の大本北海本苑内にて2007度のエスペラント合宿が開催されます。

昨年は、日本エスペラント学会創立100周年と言う記念のすべき年でした。又、今年には日本で42年振りに横浜市で第92回世界エスペラント大会が8月に開催されます。この世界大会は宗教・人種・を超へ、一つの言葉で、話し合い、友好を深め、話し合い、踊りあい、平和を誓い、楽しい一週間を過ごすエスペランティストの一年に一度の祭典です。我が道内にも海外からエスペランティストが数名訪れる事と思います

皆さん～このチャンスは二度と無いですよ～

この合宿に参加しませんか～待っていますよ

日程をお知らせ致します

日程一平成19年5月12日(土)～PM13:00

5月13日(日)～正午

場所一大本北海本苑(富良野市山部町)

参加費一本苑の5月の月次祭(つきなみさい)

お玉串程度

講師一初級一EPA 北海支部長谷口岩雄氏

入門一EPA 北海福部長佐藤不二雄氏

プログラーモ

5月12日(土) -PM13:00-受付

13:15-開講式

13:30～14:00 講話「エスペラントについて」

EPA 北海支部長 谷口岩雄氏

14:00-16:30-入門・初級に別れて学習

17:00-夕拝・夕食

18:15～19:45-学習

20:00～パンケード

10:00～就寝

5月13日(日) AM-6:00～起床・清掃

7:00-朝拝・朝食

8:15～9:15-会話の時間

9:30～10:30-本苑月次祭参拝

11:00～11:30-会話の時間

11:30～11:45-閉講式・解散

Bildrakonto "Revivigu, la arbaro de Erimo!"

Verkita de MOTOKI Yooko, pentrita de TAKADA Saburoo

絵本「よみがえれ、えりもの森」

(本木洋子・文 高田三郎・絵) エスペラント訳 (前半)

Esperantigis: CUBAKI Ŝoicĉi

GOTOO Joŝiharu

HOŜIDA Acuŝi

KODAMA Hiroo

ŜTRAHAMA Haruhisa

ちょうど1年前星田から翻訳を呼びかけ、賛同の方々と作業を進め、次のように訳文ができました。この号には前半を紹介します。

砂で埋まったえりもの浜に、五十年という年月をかけ、森をよみがえらせた漁師たちの物語 (表紙カバー折り込み部分)

2頁:

北海道日高地方。

えりも町は、日高山脈のすそ野が海にしずみ込む、そのさきっぽにあった。あたまをだした岩が、てんてんと沖までつづいている。山のさいごのすがただ。

岬の海には、コンブとりの舟がうかんでいる。浜では、コンブをほしている人たちがいる。

常雄さんは、海ぞいの百人浜の森に、毎日出かけていく。

あれから五十年……。

えりも砂漠に、わかい森ができていた。

(注) (*1)固有名詞表記: エスペラント表記 (訓令式表記)。エスペランチストに読んでもら

Rakonto de fiŝistoj, kiuj revivigis arbaron dum kvindek jaroj sur marbordo de Erimo, dezerto kovrita de sablo —. (Vortoj sur la faldita parto de kovrilo)

p2

Distrikto de Hidaka en Hokkajdo.

La urbeto Erimo situas ĉe la pinto de la kabo formita ĉe mergigo de la suda ekstremo de la Montaro Hidaka. Vico da rokoj etendiĝas punktite al fora maro. Oni povas observi ekstremajon de la montaro.

Sur la maro apud la kabo flosas boatoj por kolekti laminariojn. Kelke da homoj laboras strande por sekigi la rikoltojn.

Cuneo(Tuneo)(*1) iras ĉiutage al apudmara arbaro apud strando Hjakuninhama.

Kvindek jaroj pasis jam ...

Nun kreskas juna arbaro en "Dezerto de Erimo".

[Rimarko]

(*1)Legu personan nomon laŭ esperanta prononco. Parenteze oni montras

うことを考えていますので、エスペラント式発音表記を基本としました。

4頁

そのむかし、日高地方は太古の森におおわれていたという。百人浜のそばまで、カシワやミズナラの深い森が迫っていた。

森のめぐみは、海をそだてた。

えりもの海でとれるコンブは、宝だった。

いまから百五十年まえ、コンブとりの人たちがすみついた。

寒さをしのぐために、冬になると森の木をきって、いえのまわりにまきをつみあげた。

人がふえるごとに、森はずこしずつきえていった。

山が死ねば、海が死に、やがては人も生きられなくなるということを、だれも気づかなかった。

たったの半世紀で、一本の木もなくなった。

7頁

ゴーゴーとうなりをあげて、ふきすさぶ風。

日高山脈からふきおろす「だし風」と、海からふいてくる「やませ」がぶつかって、一年に二百七十日も風がふく。

百人浜の砂を、風がえぐる。

はげ山の赤土が、もうもうとまいあがる。

ortografion laŭ japana nacia sistemo (Kunrei-siki).

p4

En pasinta tempo praarbaro kovris la distrikton Hidaka.

Profunda arbaro el kverkoj kaj mongolaj kverkoj etendigis ĝis apud Hjakuninhama.

Arbaro favoris maron por havi kreskajojn en la maro.

La laminario rikoltata el maro de Erimo estis trezoro.

Antaŭ cent kvindek jaroj ekloĝis tie kelkaj homoj, laminario-kolektantoj.

Por pasigi tre malvarman vintron, ili hakis arbojn kaj amasigis hejtolignon ĉirkaŭ siaj domoj.

Ju pli multigis homoj, des pli malmultigis arboj iom post iom.

Neniu rimarkis, ke morto de arbaro alportos morton al maro kaj baldaŭ ankaŭ homoj ne povos vivi.

Eĉ unu arbo ne restis tie post nur duonjarcento.

p. 7

Muĝas kaj hurlas ventego furioza.

Ĉi tie kolizias daŝi-vento blovanta malsupren de la Montaro Hidaka kaj jamase-vento blovanta de la maro. Blovegas vento ducent sepdek tagojn jare.

Sablon de Hjakuninhama skrapas ventego.

De kalvaj montetoj leviĝas polvaro de bruna tero kvazaŭ nuboj.

砂嵐がふきあれる町。

ほおかむりをし、目だけをだしてあるいていた人びとは、砂食い民（スナクタミ）といわれた。

8頁

風は、かわいた土を海にとばす。雨は、はげ山のどろ水を、海に流す。

沖まで赤くにごった海。

魚もよりつかない。

宝のコンブも、どろコンブになっていた。「なにもかも、砂漠のせいだ」「もう、どこかへ移住するしかないべさ」五十年前、みんなが、そうきめかけていた。

11頁

常雄さんは二十四才。四代目のコンブ漁師だった。

「おれたちの手で、海とふるさとを、よみがえらせるべ」

とうとう、人びとはたちあがった。

「木をうえて、むかしの森をとりもどそう。きっと、魚もコンブも、もどってくる」

ながいたたかいのはじまりだった。

13頁

荒れ地をならし、牧草の種をまいた。風よけのよしずを土にかぶせた。

砂漠になった大地に、草の緑をよみがえらせ、それから木をうえ、森をつくるのだ。

Furiozas sabloŝtormo tra la vilago.

La loĝantoj devis kovri la kapon per tuko krom okulojn dum paŝado eksterdoma. Ilin oni nomis sablomangantoj.

p. 8

Vento portis sekan teron al la maro.

Pluvo forfluigis koton de kalva monto al la maro.

La maro brune malpura ĝis la foro.

For estis ankaŭ fiŝoj.

Trezoraj laminarioj estis jam en koto.

"Ĉion kaŭzis 'la dezerto' "

"Ni devas transloĝigi ien"

Ĉiuj estis preskaŭ decidontaj tiel antaŭ kvindek jaroj.

p. 11

Cuneo, 24-jara, estis fiŝisto-laminariisto de la kvara generacio.

"Ni revivigu nian maron kaj hejmlokon per niaj propraj manoj! "

Finfine la loĝantoj levigis.

"Ni plantu arbojn kaj reakiru malaperintan arbaron. Certe revenos fiŝoj kaj laminarioj."

Jen estis komenco de longa batalado.

p. 13

Ili ebenigis la dezerton, semis greson kaj kovris la teron per kankurtenoj por protekti semojn kontraŭ vento.

Ili planis verdigi dezertiĝintan teron per herboj, planti arbojn kaj kreskigi arbaron.

だが、えりもの風は、あっと
いうめによしずも種もふきとば
した。

せっかく芽をだした草もかれ
てしまった。

14~15頁

「どうしたら、風から種を守れ
るんだ」

常雄さんは、毎日、かんがえ
ていた。

海があれば、ちぎれた海草
がうちあげられる。いろいろゴ
タゴタまじっているから、えり
もでは、みんながゴタとよんで
いた。

地面にはりつくゴタは、浜で
はやっかいものだが、畑のえい
ようになっていた。

「これだ！」

常雄さんたちは、ゴタを荒れ
地にはこび、種のうえにしきつ
めた。

ゴタは、風から種を守り、め
ぶいた草を守った。

16頁

長い時がたち、砂漠に草の緑
がひろがっていった。

ノウサギが、ヒバリがあらわ
れた。

風にふきとぶ砂が、すこしだ
けへった。

森づくりの一步だった。

十七年後、ようやく、砂漠の
植林がはじまった。

(続く) -

Sed ventego de Erimo forblovis
kankurtenojn kaj semojn
en momento.

Karaj ĝermoj de greso baldaŭ formortis.

p. 14~15

"Kiel ni povus gardi semojn kontraŭ
ventego?"

Cuneo pensadis
ĉiutage.

Kiam la maro furiozas, dissirita
marherbaro surbordigas. Oni nomis ĝin
"gota" (el "gotagota" = malordo) en Erimo,
ĉar ĝi estas malorda kunmiksaĵo el
diversaj marherboj.

Gota algluiginta sur la teron
estis ĝenajo en strando, sed ĝi fekundigis
kampon.

"Ĝi devas esti utila!"

Cuneo kun kolegoj
portis ĝin al "dezerto"
por kovri semojn.

Gota gardis semojn kontraŭ vento kaj
ĝermantajn herbojn.

p. 16

Longa tempo pasis. Verdo de herboj
vastigadis sur la 'dezerto'.

Leporoj kaj alaŭdoj
ekaperis.

Sablo forblovata de vento iom komencis
malpliigi.

Tio estis la unua paŝo por krei arbaron.

Post deksep-jara penado komencigis
plantado de arboj en la 'dezerto'.

(Daŭrigota)

シャーロック・ホームズ登場120年



名探偵シャーロック・ホームズの登場する初めての物語「緋色の習作」が発表された一八八七年とこの日は、いったいどのような時代だったのだろうか。この年、ロンドンでは第一回の英国植民地会議が開催され、ウィクトリア女王の即位五十周年の記念式典にはその植民地各地から民族衣装をまとった兵士らが連なり、まさに日の没することのない大英帝国を世界に知らしめる一大イベントとなった。しかしその栄光の影には貧困にあえぐ民衆がいて、産業革命以後にあらたに中産階級というあたらしい階層が出現したものの、結局は中流の上、中流の下に区分され、世の中は上流と下流はつきり分けられたまことに格差社会の典型でもあった。

① その時代背景

東山あかね

田園地帯から都市へと人口は集中し、都市の人口は急激に膨れ上がっている。働く場を得た者はいが、その流れに乗れずドブプロアする人間も次々と多数でてくる。ロンドンの下町には極貧の人々がボロをまとい食事もままならない生活を余儀なくされている。教育も身寄りのない女たちはメイドとしての働き口がみつければ運がいいとせねばならなかった。生きて行くためにはやむを得ず自分自身を売りに売らねばならな

格差社会とエス・ペラント



「ストランド・マガジン」の連載第1作「ホヘミアの醜聞」のシドニー・バジットによるイラスト。居間にくるるホームズ(右)とワトソン

い惨めな女たちも町にはあふれかえっていた。日本では「哀愁」という題名で有名になった映画の原題は「ウォータールー・ブリッジ」でこの橋にはいわゆる「売春婦」と呼ばれる女性が数層おきに立っていたといわれる。研究により数に大きな差があるのがホームズの時代にロンドンには三万から三十六万八千人のそういう境遇の女性

性があったとされている。ロンドンではまさに犯罪のすまぐ大都市であった。一八八八年には本ワイトチャペルという下町で五名の女性がつづつと残忍に殺害されるという事件が実際に起きている。犯人「切り裂きジャック」は、機構の整わない弱体警察組織に犯行計画を送りつけ、あきまうように犯行をくりかえした。必死の捜査にもかかわらずこの事件は迷宮入りしている。そのよまな状況のなかで事件をつづつと解決するスマートなホームズの姿や、ホームズを「すばらしいよ」「君は人類の恩人だ」とまで持ち上げる平凡なワトソンの両者は今にもまして当時

合したきわめて合理的で学びやすいう言語である。このサモンホフはドイルと同年の生まれで、医学を修め一度は一般開業医となったが人の死を多く見るのに耐えられず、ウィーン大学のフックス教授のもとで眼科学をおさめ眼科医となった。ドイルも友人に眼科医になれば診療と文筆の両立が可能だとすすめられ、ウィーンに滞在している。そのころは医師むけに眼科の特別講座が開催されていたのだ。ドイルのほうはどちらかドイル語での授業についていかれず、眼科学はどの程度習得できたのかは定かではない。いくらか医師免許があるとはいえず、

の人々の心を捉えて離さなかったことは推測にかなわない。その時代のヨーロッパに目を移してみると、ロシア帝国占領下のポーランドのウイヤウイストクというロシア人、ポーランド人、ドイツ人、ユダヤ人が住む町に生まれた貧しい眼科医のサモンホフ(一八五九—一九一七)は言葉が通じないことでも人々が敵対しあうのをまのあたりにみて育ち、多民族間のコミュニケーション手段として国際共通語エスペラントを創案し、一八八七年に帝政ロシアの検閲をクリアして世に発表している。エスペラント語というのは文法わずか十六か条、ヨーロッパのエッセンスを抜き出し整理された特別講座の受講もままならなかったドイルは眼科医として活躍する前に文筆の生活に入ったのは、まさに世のためになったというべきであろう。一八八七年は明治二十年、この年皇后が婦人に洋装をすすめ、鹿鳴館には白熱電球がともし、二葉亭四迷が英文二文体で「浮雲」を発表している。この二葉亭四迷がロシアのウラジオストクで出会ったホストニコフに依頼されて日本で初のエスペラント教科書「世界語」を一九〇六年に出版し、たちまち版を重ね日本でブームとなったことに運命的な出会いを感じた。サモンホフが創った国際共通語エスペラントもまた今年発表百

*VOJO SENLIMA; N-ro 168, Decembro 2006, 熊本エスペラント会. B5 X12 頁のうちE. (=エスペラント) 文4頁弱は RAKONTOJ PRI MILITO(10), 朝日新聞の中国戦争体験記。日本語からの直訳単語は再吟味必要か。ほかはフィレンツェ UK, 岡山の日本大会など。

*センター通信: 2006年12月20日, 第250号, 名古屋エスペラントセンター, B5 X10頁のうちエスペラント文約7頁弱。内3頁は S-ro Mario Jose' de Menezes の日系ブラジル人 (nikkejoj とエスペラント化されている) の話。

*La Vulkano: N-ro 156, Vintro 2006; LA ORGANO DE HUKUOKA ESPERANTO-SOCIETO: B5 X 8頁のうちE文は合計1頁。「国に属さない」精神で平和を訴え続けたい—は森真吾のエスペラント活動についての記事 (西日本新聞、毎日新聞) の紹介。

*受講生通信 第110号, 2007-01-01, 沼津エスペラント会, B5X12 頁の内E. 文1頁は通信講座修了者の文。関西大会/枚方市、日本大会/みなかみ町、エスペラント日本語辞典 (JEI) のチラシ同封。

*La Movado; KLEG (関西エスペラント連盟) 発行, N-ro 671 jan. 2007, B5 X20頁のうちE. 文2頁。UK関係記事が多くなってきた。芥川龍之介の作品カルメンの対訳 (Carmen: trad. KONTSI Gaku) の連載が始まった。

*NOVA VOJO: N-ro 425 januaro 2006, EPA (エスペラント普及会), A5 X36 頁中E文5頁。韓国圓佛教とのエスペラント交流の記事が6頁。

*Mejlŝtono 2007 januaro N-ro 199,

仙台E会: B5X10 頁の内E. 文2頁。3月発行予定の200号記念誌への原稿依頼。1965年4月の第1号には同年の東京UKの大会書記ポンピリオ氏の仙台来訪の記事がある。彼は札幌にも来たが IELの当時の機関誌 LEONTODO に記事が出ていた。

*Novajoj Tamtamas: N-ro 216, Januaro 2007, JER (Jokohama Esperanto-Rondo) 発行, 全文E. Leteroj el legantoj にはドイツ、ウズベク、モンゴル、ウクライナからのたより。世界大会をひかえての横浜の案内は中華街の写真入り解説。

*Ponteto/ (Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo: 関東エスペラント連盟)/Januaro 2007 N-ro221; B5 X8 頁のうちE. 文1頁は "Semajno de Internacia Amikeco" (国際友好週間、今年は2月19-25日)。山添三郎さん (元E. 医学者協会会長) への弔辞、フィリピンでのE. 授業 (堀泰雄)。

*La Movado; KLEG発行, N-ro 672 feb. 2007, B5 X20頁のうちE. 文2頁半。

*NOVA VOJO: N-ro 426 februaro 2007, EPA, A5 X 36頁中E文3頁半。イスラエルで初めて発行されたエスペラント関係切手はザメンホフの肖像入り (Nur unu plia poŝtmarko/Jeremi Gishron)、EPA 苫小牧支部活動報告 (柴田智美支部長)。事務局便りの会員名に北海道から次の方々が見える: 近藤亀寿、小島愛子、佐藤不二雄、佐藤布美子。

*Novajoj Tamtamas: N-ro 217, Februaro 2007, JER 発行, 全文E. 横浜案内は市営バス。Rugsua? と 見ると

「あかいくつ」バス、文の 中では supersigno がついているのもある、UK をひかえて忙しいところだ。Memorajo pri Universalaj Kongresoj (YAMASAKI Seikô)は Brajtona UK (1989)の UEA会長選挙の余波 (Skuo kaj ŝango en JEI pro komploto?) の当事者談。

*La Tamtamo: 第387号, 2007年2月, A4X 6頁、JER 日本文。横浜エスペラント会2007年度総会号 (活動報告、会計報告、活動計画案、予算案など)

*Eskalo 第120号(2007年第1号)、2007年2月21日、川崎エスペラント会、B5X8頁のうちE.文はクロアチアの姉妹都市からの手紙半頁分。ここも「UKに向けた会話力アップ作戦」を展開中。川崎市後援の地球市民講座「自然破壊/紛争地帯からのレポート」のチラシ同封。

*センター通信: 2007年2月27日, 第251号、名古屋エスペラントセンター、B5 X 8頁のうちE.文は合計1頁未満。全ページの半分4ページを占めてオーストラリア夏期講習 (AESK: Aŭstralia Esperanta Somera Kursaro) の報告記事。講習は1月、オーストラリアの夏でも涼しいホバートのタスマニア大学のアパートで2週間、この経費が Bankedoや2回の週末バス遠足を含

Ekzameni Vortojn/単語をしらべる

HOSIDA Acuŝi

エスペラントが生まれてから百二十年、一つ一つの単語にも歴史があり、またエスペラント以前、その材料となったヨーロッパ文化の遺産も含まれています。辞書に出る訳語だけでは理解しにくいこともあるので例文を読んで考えることもありますね。以下、最近の例です。

*celebri

めて8万円あまり。そのあとメルボルの samideanoj を訪ねて1週間。

*La Movado; KLEG発行, N-ro 673 mar. 2007, B5 X16頁のうちE.文3頁半。カルメンの対訳終わる。登場する盲目の詩人 Danĉenko のモデルは明らかにエロシェンコ。壮大な「日本語エスペラント辞典の点訳」の計画が福津市 (福岡県) で進んでいる。Samideanoj, estu ambiciaj! エスペランチストよ大志を抱け!

*NOVA VOJO: N-ro 427 marto 2007, EPA, A5 X 36頁中E文20頁。La nurdummiljara lingvo (Jeremi Gishron) は、旧約聖書でも使われていた、かつてエジプトからカスピ海までの中東全域でセム系言語の pontlingvo として使われていたアラム語 (la aramea) について。

*受講生通信 第111号, 2007-03-01, 沼津エスペラント会, B5X12頁の内E.文2頁は講座修了者の手紙。その中に初級終了の山下博子さん (札幌) のも。JEI エスペラントセミナーオ・神戸、第39回エスペラント林間学校のチラシ同封。

*La Doŝnkacxo, Ariake-Esperanto-Grupo N-ro 3 feb.-2007, A4 X 6頁のうちE.文3ページ半。

横浜UKの DUA BULTENOに、大会前後行事 (Antaŭ kaj postkongresaj ekskursoj) の説明があります。La Pacmemor-Parko (広島平和記念公園) について、原爆ドームの写真の横に次の文があります。

La Pacmemor-Parko estis konstruita por celebri la falon de la atomobombo super Hiroŝimo en la 6-a de aŭgusto 1945 kaj por instigi pacan mondon.

aŭgusto 1945 迄の文は、

「1945年8月6日の広島への原子爆弾落下(投下)を celebri するために平和記念公園は建設された」と読めます。そこで、celebri を どう理解するか。

昨年出た「エスペラント日本語辞典」では、
(儀式、祝賀会を) おこなう、(記念日などを) 祝賀する
とあり、例文は 結婚式をおこなう、記念日の祝賀式をおこなう、生誕(創立)100年を祝う となっています。

とすると、この文は「原爆投下を祝うために --- 建設された」と なりそうですが、「原爆投下を祝う」は、日本では聞きませんね。

投下した側の国では、「原爆投下によって戦争を終わらせた」が公式見解であり、祝賀すべきものと理解するのが当然のようですが。

この辞典の訳語の最初の言葉だけを採用して

「儀式を行う」とすれば「祝賀」なしの理解ができそうです。たしかにあの公園では儀式が行われています。毎年原爆投下の日に。「原爆犠牲者を悼み、平和を祈念する儀式をおこなう」という意味で、celebri を理解する余地はあるでしょう。

それでは、権威ある PIV(PLENA ILUSTRITA VORTARO DE ESPERANTO)では?
celebr/i (tr) Publike kaj laŭrite plenumi ceremonion kun ia religia karaktero

つまり「なんらかの宗教的色合いのある公開の儀式をおこなう」こと。例文は復活祭の儀式をおこなう、結婚式をおこなう、など。

PIV では、これにつづいて

(vs)(=vastasence) として

Plenumi ceremonion okaze de iu grava evento: 重要な行事での儀式をおこなう
があり、「祝賀」の色合いは薄くなっています。

celebri と同じ語源の英語 celebrate は、

「儀式、祝典をおこなう、人の功績をほめたたえる、お祭り騒ぎをする」で、「祝い、まつり」の色合いが強くなっています。

このことばの語源は? ラテン語の celesber =有名な、よく知られた、から出て、顕彰する、ほめたたえる、顕彰の儀式、となったようです。

再び最初の DUA BULTENO の文にかえります。PIV にあるように「儀式をおこなう」で理解はできますが、新しい「エスペラント日本語辞典」では(英語の影響?) 祝賀の色合いが濃い。日本での「原爆の日」の儀式は「追悼と平和祈念」

ですから、誤解されそうな単語は避けて、
memori (記憶する), rememori (思い起こす) などを使ったほうがよかった、
と思います。なお、漏れ聞くところでは、あの文を書いたのは日本人ではなかつたようです。

*instigi

上に出した DUA BULTENO の文の aŭgusto 1945 に続いて

kaj por instigi pacan mondon

があります。新「エスペラント日本語辞典」では

instig/i <iun + al io, iun + ~i> 促す、そそのかす

で、人(など)をなんらかの行動に向かわせること。

類語として impulsi, inspiri, stimuli, などが出ています。

同語源の英語 instigate の訳語では「おだてる、けしかける、煽動してやらせる」などがありますが、同じことでしょうか。ところで、上の

por instigi pacan mondon

の意味は? 「平和な世界を刺激する」?

por instigi mondon al paco なら、理解もできますが、そうでしょうか?

*evento

これも DUA BULTENO の、上掲の部分の最後の行にあり、原爆投下を指す言葉として使われていますが、広島の方から反発がありました。

> evento 日本人にとってはイベント、まあお祭りみたいな行事という語感で
> すが、被爆について使われると私は怒りを感じます。

PIV では Difinita, sufiĉe grava okazaĵo で、

「(重大な) 出来事、大事件」ですね。日本語の「イベント」は娯楽的行事に片寄って使われているのでしょうか。語源的には okazaĵo です。

古い英語の大辞典では event について「吉凶にかかわらず、出来事、事件を表現する」との説明がありました。

*plaĝo, strando

「よみがえれ、えりもの森」の翻訳中、「百人浜」の訳語にちょっと混乱がありました。辞書では次のようになっています。

plaĝo:

(PIV) Strando, aranĝita por la akcepto de feriantoj

(新エス目) 1. 砂浜、ビーチ 2. (整備された) 水浴場

strando:

(PIV) Bordo de maro, lago aŭ rivero sufiĉe ebena k sabloriĉa por la sun-
aŭ akvo-banoj

(新エス目) 岸、浜、砂浜

これによって、より人工的加工の少ない浜として strando を採用し、

「百人浜」は Strando Hjakuninhama といたします。

[第3回委員会報告] Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido

日時：2006年12月16日18時～ 場所：札幌市民活動サポートセンター

出席：阿部、後藤、佐藤英治、佐藤不二雄、椿、中田、星田（記録）

欠席：横山、大山口、須藤

議事

*広報：横山部長欠席、報告なし

*財政：図書保管用物置、工事含み12万6000円支出。11月の図書整理作業ボランティアには1人あたり千円を支給した。

*メールマガジン：SES通信を入れた。

*情報・宣伝：道大会の講演会（プラハ宣言とアイヌ語復権）は外部向けの宣伝が行われず、反応は少なかった。室蘭工大の工大祭（10月21日）でチラシをまいた。4月の入学式でも考えたい。

*教育・研究

SES、EPA、TES(苦小牧)：従来(前回報告)通り

新人歓迎のなにかアイデアはどうか。

*図書部(中田)：11月図書を新書庫(物置)に収めた。"Domo de Verda Ste lo"と名づけ、虫干しを「緑の星の家の日」として8月以前に実施したい。

*機関誌：12月16日 N-ro 111 印刷発行(120部)、発送。

「私の推薦する本」のような記事がほしい。

*年間計画

ザメンホフ祭：札幌12月16日13時、かでの2・7

5月合宿・北海道大会：2007年は世界大会(4-11/aüg.)もあるので、その直前に合宿(UK対策会話特訓)を開く。いや大会も合わせて2泊3日ぐらいの計画ではどうか。時期は7月28~29日(土~日)か、札幌の大本センターなら宿泊もできる、一と、意見いろいろ。

* (横浜UKへ) アジアエスペランチスト招待事業

JEI 担当理事(S-ro 野村)から星田へ打診があり、HEL が協力関係にある Vladivostoka Esperanto-Klubo に候補者の推薦を依頼。次の人が推薦され、JEI から承認されました。JEI からの助成は1人分20万円(参加費含み)ですが、越える分はHEL で負担することになります。

JULIN Fjodor Andreevič naskiĝjaro 1988

studento de la 1-a kurso de la For Orienta Ŝtata Teknika Universitato fakultato de Informadiko kaj Komputeraĵoj

Li komencis lerni Esperanton en mezlernejo

*次回委員会：2月24日(土)18時、札幌市民活動サポートセンター。

同日10時から同所で機関誌(N-ro 112)を印刷する(*実施できず、延期)

[第4回委員会報告] Protokolo de la 4-a Komitato Kunsido

日時：2007年2月24日18時～ 場所：札幌市民活動サポートセンター

出席：阿部、後藤、佐藤英治、佐藤不二雄、中田、横山、星田（記録）

欠席：大山口、須藤、椿

議事

- *新規加盟者1名：市川貴弘（伊達市、私立学校職員）
- *広報（HP）：24日朝現在アクセス数 53527（ 年以來）
Heroldo de HEL の目次、Ainaj Jukaroj（説明つき）をアップした。
切替さんのホームページにリンクした。
- *メールマガジン：2月²⁴日 100号を発行。祝詞が3通来た。部数は998、千部
を回復したい。3月から椿委員の新講座が発足する。Ainaj Jukaroj の連載を
始めた。
- *情報・宣伝：春の講習会の際、効果的なものを考えたい。かでの2・7 に
ピラ・パンフなど置くとすぐはけてしまうが、効果はみえない。
- *教育・研究：札幌E.会(SES), 苫小牧E.会(TEs), EPA札幌センターの例会は従来
通り。11月、EPA 苫小牧支部が発足した。札幌美園の柴田宅(EPA)でも学習会
の計画がある。
- *図書：図書リストのデータ化(Excel, Office による)を進めたい。
書庫 "Domo de Verda Stelo"を見てもらう公開日を虫干しもかねて6~7月ご
ろに設定する。
- *機関誌：Heroldo de HEL No. 112 は切替氏の提案により彼に原稿を送り編集を
任せることにしたが、理解に食い違いあり、印刷発行日(2\24)の前日、編集
ができていないことが判明し延期となった。星田が編集にかかり、3月にずれ
て発行される見込み。
- *北海道大会：世界大会直前合宿をかねて7月28~29日と想定。宿泊は札幌の
EPA-Centro なら十人ぐらい入れるスペースはある。会場は直ちに手配。
- *EPA 合宿(入門、中等)：5月12~13日、大本北海本苑(山部)にて。EPA 会
員外も参加可能、講師は佐藤不二雄さん。
- *外国人訪問者：Vladivostok から S-ro Fjodor Julin, 道大会→UK,
Ges-roj Darius kaj Christelle, Litov-franca familio:7\25-27 の間、北海
道を訪れたいとのこと。
- *中田委員よりHELとして横浜UKへの寄付を集めるように提案があり、別掲
記事(1P)のように、HELの郵便振替口座に払い込んでもらうことにした。
- *次回委員会：4月28日(土)18時、札幌市民活動サポートセンター。
同日10時から同所で機関誌(N-ro 113)を印刷する。

[編集後記/Redaktanto parolas ...]

- *上の委員会報告にあるが、機関誌が遅れてすみません。美しい印刷は研究課題。
- *UK前後に北海道訪問予定の外国同志からの連絡ぼつぼつ。準備を進めよう!
- *世界大会、4月になると参加費など上がります。今月中に払込を!
- *2月27日道新記事の筆者、以前「平和の滝と相沢良」をお知らせ下さった方。